議員でつくる広報誌

むかわ議会だより

２Ｐ～３月定例会
５Ｐ～令和２年度各会計予算審議
７Ｐ～令和２年第１回、第２回臨時会
９Ｐ～ここが聞きたい！３人の議員が一般質問
12Ｐ～委員会報告
（総務厚生・経済文教・胆振東部地震復旧復興）

No.53
2020. 4. 30 発行

発行責任者 むかわ町議会
〒054- 8660　北海道勇払郡むかわ町美幸２丁目88番地
編集 議会広報委員会
☎ 0145-42-2486　FAX 0145-42-4994

特別会計、企業会計を含めた予算総額145億8362万円可決

令和２年第１回議会定例会は、３月９日・10日・11日の３日間開催し、町長の執行方針、教育長の執行方針が示されました。また、３名の議員が一般質問を行い、本会議では、同意１件、令和２年度各会計予算を含む議案24件、議員から提出のあった意見書案２件、決議案１件について審議しました。

会計名		本年度予算	前年度予算	増減率(%)
一般会計		102億2255万円	101億　96万円	1.2
特別会計	国民健康保険	17億　411万円	19億5219万円	△ 12.7
	後期高齢者医療会計	1億4255万円	1億4807万円	△ 3.7
	介護保険会計	9億2410万円	9億　644万円	1.9
公営企業会計	上水道事業	7億1733万円	4億　230万円	78.3
	下水道事業	6億　479万円	8億1189万円	△ 25.5
	病院事業	2億6817万円	2億7146万円	△ 1.2

令和２年度主な事業

・穂別地区特定地域向けＩＰデータ通信網サービス更改工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・１億５２２４万円
・まちなか再生事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２９３万円
・恐竜プロジェクト事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７３１万円
・四季の館管理運営事務・・・・・・・・・・・・・・・・・２億　２３８万円
・アイヌ政策推進交付金事業・・・・・・・・・・・・・・・３億　６５９万円
・胆振東部消防組合消防署鵡川支署庁舎移転整備事業（基本設計、土地購入費）・・・・・・・・　３００６万円
・文京ハイツ新築工事・・・・・・・・・・・・・・・・・３億５５３０万円
・末広団地Ｃ棟新築工事・・・・・・・・・・・・・・・５億１０７３万円
・鵡川高校生徒寮取得事業・・・・・・・・・・・・・・３億　５９１万円
・小中学校校内通信ネットワーク整備事業・・・・・・・・・２５２６万円

【議案審議】

◆工事請負契約の変更に関する件

●普通河川１号沢川災害復旧工事に設計変更が生じ、契約金額７１１７万２千円を７９９９万２千円に変更するものです。

●普通河川オサネップ川災害復旧工事その１の工期を令和２年３月19日までを、令和２年５月29日までに変更するものです。

問　**中島議員**　オサネップ川復旧工事について、５月29日までとなっていますが、田植え作業の影響をどのように捉えていますか。

答　田んぼが背後に張り付

いていますので、営農の作業に支障が出ないかたちで早めに終わらせるように進めていきます。

●普通河川オサネップ川災害復旧工事その２の工期を令和２年３月19日までを令和２年６月30日まで」に変更するものです。

●鵡川テニスコート外２災害復旧工事の工期を令和２年３月25日を令和２年６月30日に変更するものです。

問 山崎議員　４工事を見ると、業者との綿密な打合せの中で入札をしますが、災害復旧という名の下で無理矢理発注したと思わざるを得ないのですが。

答 工期の延長については、国の災害事業の会計上の問題もあり、年度内で完了させるのが大前提で進めてきました。

　しかし、繰越承認という国の手続きを経て許可をもらってから、年度をまたいで工期設定が可能になります。

　度重なる変更にご理解願います。

◆印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案

●成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による印鑑登録証明事務処理要領の一部改正によるものです。

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

●地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う特別職非常勤職員の厳格化に伴い、所要の改正をするものです。

◆医師の給与に関する条例の一部を改正する条例案

●医師の給料等について、職員給与定期昇給を踏まえ、条例の整備を行うものです。

問 大松議員　他の医療機関に勤める医師との給料の差はどれくらいですか。

答 近隣の地域の中では中盤より少し低いです。

◆国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

●都道府県単位化に伴い、保険税率及び課税限度額等について改正を行うものです。

問 大松議員　国の限度額は99万円です。

　町は96万円という改正で、トータルで低所得世帯が軽減されることになりますか。

答 各構成ごとに資産割を持っているところについては、基本的には税額が下がります。

　所得が多い方については、所得割がなくなる分、限度額も上がります。資産割がなくなって減る分よりも、限度額が上がって減る部分が多くなる方もいます。

問 北村議員　資産割をなくして３方式にして、影響額は７７０世帯、６７０万円で半分ぐらいの世帯が変わっていきます。

　そこで応能割、応益割で見た場合、比率はどう変わっていくのか、年収２１６万円の年金世帯と２６０万円の世帯との率はどう変わっていくのか。

答 資産割部分を所得割に転換しないので、あくまでも資産割を持っていた人たちが反映されないことによって減額になります。

◆子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

●保育所等訪問支援事業を新たに追加するものです。

　また、幼児教育無償化に伴って、児童福祉法施行令等の改正により、所要の規定の整備を行うものです。

◆町営住宅管理条例の一部を改正する条例案

●民法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行うものです。

ボランティアに感謝

●令和元年度各会計補正予算

◆一般会計補正予算（第7号）

1億6792万3千円を減額し、102億6042万円とする。

※補正の主なもの　（▲は減額）

●ふるさと納税運営事務　▲918万4千円

ふるさと納税について

問　野田議員　町の大きな財源になるので、嘱託職員を置いて一生懸命やってほしいのですが。

答　人件費は寄附金額の50%以内とされています。

現行の職員体制の中で強化を図りながら行ってきました。

●高齢運転者事故防止対策助成金　150万円

助成金の内容は

問　大松議員　町内・町外の業者に頼んでも補助金は出ますか。

答　国のサポカー補助をもらう登録をしている事業者に頼むと上乗せされます。

問　津川議員　65歳以上の該当者は何人と想定していますか。

1世帯何台でも付けられますか。

答　個人負担は2分の1で上限が3万円で50台分、1世帯1台、1年以上使用する車が対象です。

●プレミアム付商品券事業　▲3545万5千円

対象世帯数は

問　大松議員　実際にどれくらいの利用がありましたか。

答　非課税世帯が1341世帯、1929人。

子育て世帯は136世帯、162名です。

申請率は、非課税は853人、44・22%です。

災害に備えて

●農業振興施設等整備事業補助金　▲6941万8千円

●担い手確保・経営強化支援事業補助金　3202万4千円

●小学校施設整備事業（穂別小学校トイレ洋式化）　1683万円

●小中学校校内通信ネットワーク事業　2526万3千円

◆国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

1億7096万6千円を減額し、17億8651万7千円とする。

◆後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

789万5千円を減額し、1億4045万9千円とする。

◆介護保険特別会計補正予算（第3号）

6597万円を減額し、8億6071万4千円とする。

◆上水道事業会計補正予算（第4号）

上水道事業に必要が生じたことから、予定額を補正する。

◆下水道事業会計補正予算（第3号）

公共下水道事業に必要が生じたことから、予定額を補正する。

◆病院事業会計補正予算（第1号）

789万5千円を減額し、1億4045万9千円とする。

【同　意】

◆教育委員会委員の任命
花岡275番地
小坂　幸司氏（再任）

【意　見　書】

採択された意見書

●加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書
提出者　野田議員

●農業者の自家増殖を原則禁止とする種苗法改正に反対する意見書
提出者　北村議員

【決　議】

採択された決議書

●「民族共生の未来を切り開く」決議
提出者　野田議員

令和2年度予算審査

令和2年度各会計予算審査は、新型コロナウイルス感染防止対策のため特例として特別委員会は設置せず、本会議審査を3月10日、11日の2日間で審議しました。
一般会計、他6会計の審査を13名の議員で審議し、議決しました。

これからのまちづくりは

問 野田議員　まちづくり計画や総合戦略を変えていく年ですが、指針と手順は。

答 まちづくりについては、令和2年度の中で策定していきます。
中期財政計画と行政改革は両輪で同時に進めますが、まちづくり計画策定の前に行政改革、中期財政計画を策定します。

行政サービスに期待

問 三上議員　東胆振定住自立圏共生ビジョンの今後の連携強化は。

答 広域的に共通する課題に対応するため、1市4町で共生ビジョンが策定されていますが、現在取組の総括、検証をして次のステップに進めます。

むかわ竜が走る

問 佐藤議員　JR日高線むかわ竜のラッピング列車運行の内容は。

答 むかわ竜をラッピングして列車を走行させることでむかわ町のPR・関心人口の拡大につながると考えています。
具体的には日高線、室蘭線、岩見沢から室蘭まで4年間定期運行します。

空き地が活用される

問 大松議員　まちなか復興賑わい創出事業の内容は。

答 住民との共同によるまちなか再生とイメージアップの取組で、両地区市街地の沿道の花壇整備による景観づくり、被災による空き地を活用したふれあい広場の開設やイベントなど実施していきます。

解体前に活用方法は

問 東議員　旧富内小・市街地・仁和の教員住宅7棟の解体について、地域住民と活用方法について検討がされましたか。

答 富内については、教員住宅が民地であり所有者と協議をし解体するもので他は危険住宅のためです。
現在入居されている他の4世帯については意向を確認しながら進めていきます。

テーブルが重くて危険

問 津川・山崎・佐藤・大松議員　四季の館、町民会館、集落センターのテーブルが重く高齢者にとっては大変危険です。軽いテーブルの導入を。

答 四季の館は今回会議用テーブルを軽い車輪つきに、椅子はメッシュ系のものを購入しますが、町民会館、集落センターについては今後検討していきます。

立ち上がったカムイサウルス・ジャポニクス

地域商社で活性化を

問 北村議員　地方創生費を活用しての会社は、地域商社なのか合同会社なのか将来自力経営をする会社としての整理は。

答 いろんな形の地域商社がありますが、最初は合同会社で法人化し、地域課題解決に貢献していただきます。

初年度の資金計画は、むかわ町の将来につながる予算ですし、自走が前提ですから収益があったときは減額になります。

災害時に重要な役割

問 東議員　四季の館発電機のオーバーホール点検整備料３５００万円の内容は。

答 災害時に四季の館、ホテル、庁舎を含め全てを賄える出力をもった大型発電機です。

全て分解して整備するとこれぐらいの額になります。

安心してお風呂に入りたい

問 北村議員　四季の館は20年を過ぎ温泉施設の傷みが激しく計画的に大型修理が必要では。

答 風呂の配管については指定管理者の中にビル管理の資格を持った方がおり、日々の点検と修繕を図っています。

近い将来大きな調査が必要と思いますが、今はビル管理者、指定管理者の協議の中で日常のメンテナンスに努めていきます。

介護施設が大変

問 野田・佐藤・東議員　介護士確保は喫緊の課題であり事業者の経営は大変な状況にあります。外国人労働者の雇用も含めて今後の支援は。

答 介護人材の確保自体難しい状況ですが、入門的研修の開催、介護の仕事ＰＲ・キャリアアップ等の支援事業、介護人材バンクの登録など新規事業を進めていきます。

また外国人労働者ですが、受け入れ側の指導体制や生活環境を整えていく課題もあり、今後事業所と一緒に考えていきます。

森を生き変えさせる

問 北村議員　森林が多いまちとして、森林環境譲与税を活用した計画は。

答 未整備森林所有者等の意向調査を踏まえた民有林整備計画が進んでいません。

今後森林整備予算によって活用を図ります。

頑張る後継者

生活ごみの収集は

問 大松議員　民間賃貸共同住宅建設事業でアパートを建てるとき、ごみ収集問題等のトラブル解消は。

答 アパートのオーナーさんがごみステーションを設置するか、町内会を利用するか建設する前に協議を進めていますが、交差点から５ｍ以内は収集できないなど、場所によって問題ありますので、今後トラブルがないよう調整をします。

これで大雪も大丈夫

問 佐藤議員　農業用ハウスの強靭化緊急対策事業の内容は。

答 平成30年度の豪雨災害、台風や大雪でハウス倒壊等の被害があったことから、国の事業でハウスの資材補強に上限２分の１以内、防風ネットは２分の１以内で上限設定はありません。

いざというときに

問 大松議員　防災無線受信機の貸与は。

答 １００台用意しており、必要な高齢者の方に無料で配置します。

全ての人が対象になりませんので、若い人にはＳＮＳ等で同じ情報を発信していきます。

生徒数確保が急務

問 **野田議員** 穂別高校は、生徒数で大変な時期が来るのでは。

答 道立高校は、学年20名以下は再編の対象になります。

そのルールを特別ルールに変えて頂き10名までは認める形です。

しかし10名で適用するために道教委から留保するため町として施策の資料を求められています。

問 **舞良議員** 穂別高校穂星寮に入寮している生徒数と管理者の募集をしていましたが現状は。

答 令和元年度入寮者数は23名ですが、2年度は20名の予定です。

管理者の欠員については募集により補充されています。

給与水準は適正か

問 **三上議員** むかわ町のラスパイレス指数は。

答 平常業務、災害業務に向き合いながら町民サービスに努めています。

職務の士気高揚にもつながるラスパイレスは、98ポイントから99ポイント台です。

問 **北村議員** 災害等で都道府県の技術職員を市町村に派遣する制度の利用は。

答 現在、北海道・苫小牧市・遠軽町から技術職員の派遣を頂いています。

来年度も道から1名の技術職員の派遣が決まっていますが、引き続き災害対応での技術職の確保に努めていきます。

給食費が軽減される

問 **大松議員** 給食費第1子は現状・第2子半額・第3子以降は無償ですが第2子からにした経過と対象人数は。

答 胆振東部地震の復旧・復興が最優先ではありますが、多子世帯の負担軽減を図る必要から第2子半額・第3子以降無償としました。

対象人数は小学生第2子105人・第3子以降27人・中学生第2子15人・第3子以降0人です。

安全確保のために

問 **山崎議員** 防犯カメラの設置台数を安全確保のため増設しては。

答 鵡川地区2台、穂別地区1台を設置しています。

設置時、個人情報の問題などで議論がありましたが、時代背景もありますので積極的に検討を進めます。

令和2年 第1回議会臨時会

2月5日開催での審議は、報告4件、議案2件を可決しました。

【報　告】

（専決処分）

●舗装陥没箇所があり、車両のタイヤとホイールが損傷。

過失割合8対2で示談成立、損害賠償額　7万840円

●鵡川テニスコート外2災害復旧工事施工契約について、冬期間のアスファルト施工となり、工期の延長。令和2年2月29日を3月25日に変更。

●似湾川災害復旧工事で、地形変化に伴う河川断面の変更や各工種の数量変更により、5594万4千円に36万5千円を追加。

●オサネップ川災害復旧工事で、工事区域内の耕作者との協議により現地着手を遅らせる必要が生じたことから、令和2年3月2日を3月19日に変更。

車に気をつけて

【議　案】

◆1号沢川災害復旧工事で、工事区域隣接耕作者との協議の結果、現地着手を遅らせる必要が生じたことに併せ、他の災害復旧工事により従事者や機械確保が困難な場合が続き進捗が遅れたことから、工期を令和2年2月5日を3月25日に変更。

◆令和元年度一般会計補正予算（第6号）

●恐竜レプリカ制作で、展示姿勢の変更により、544万5千円を増額。

問 大松議員　2体目のレプリカ制作は、1体目より安くできるとしていましたが、なぜ委託料が544万円増加になっているのですか。

答　1体目は学術目的に作られています。2体目は、展示を目的とした形に造りかえます。

組み立てや移動作業の軽減を図ります。

高さを実感できるような物にするための設計変更です。

●クラウドファンディングに伴い不足分、589万7千円増額。

第2回 議会臨時会

3月27日開催での審議は、承認1件、議案12件を可決しました。

【承　認】

●1号沢川災害復旧工事で、復旧箇所の必要部材制作に日数を要するため工期を、令和2年3月25日を5月29日に変更。

【議　案】

◆プロポーザル方式での鵡川高校生徒寮建物の買い取り。
3億591万円

◆固定資産評価審査委員会条例の改正。

◆令和元年度一般会計補正予算（第8号）
719万2千円の減額

◆国民健康保険特別会計補正予算

●保険事業会計
1112万8千円増額

●直診勘定
55万円増額

◆令和2年度一般会計補正予算（第1号）
245万円の増額

●文京ハイツ新築工事
建築主体　3億195万円
機械設備　5335万円

●末広団地C棟新築工事
建築主体　4億4千万円
機械設備　7073万円

●町道栄豊田線災害復旧工事2工区
1億5730万円

●奥地林道幌内栄線（第3号箇所）災害復旧工事
8910万円

●その他林道春日旭岡線（第2号箇所）災害復旧工事
1億2571万9千円

完成しました

新型コロナウイルスへの対応は

動線を分けて対応

山崎（やまざき） 満敬（みつよし） 議員
YAMAZAKI MITSUYOSHI

問 穂別診療所、鵡川厚生病院との間で、既に新型コロナウイルスへの対応を協議しているとは思いますが、万が一の場合に備えての感染防止策などを含めた内容は。

答 新型コロナウイルスの感染症は、指定感染症で国、道からの指示に基づき行われます。

穂別診療所と鵡川厚生病院では、症状を確認し、発熱等の症状により診療場所を変えるなど、他の患者と共有しないよう動線を分けて対応に努めています。

また、慢性疾患で定期通院の方は、電話による処方により対応し、薬の代理受領や診察を省略した薬の受け渡しを希望者に実施し、院内での滞在時間を極力短縮する措置が取られています。

今後も、医療機関と感染拡大の防止に向けた連絡協力体制を取っていきます。

問 感染の疑いのある方の行動はどのように。

また、ふだんの行動など、積極的に発信する考えは。

答 1日三回防災無線で発熱等がある方については、保健所のほうに相談をと発信していますし、新聞折り込み等でも周知を進めています。

また、ホームページとフェイスブックにも載せています。

今後も状況が変わっていきますので、その都度広報をしていきます。

問 町内で感染者が確認された場合、行動履歴にの公開など、発表は町としてするのですか。

答 基本的には本人の同意がなければ公表できません。

個人情報に留意しながら行って行きます。

学校が大好き

「新型コロナウイルス」情報発信と対策を

丁寧な対応をします

おおまつきみこ
大松紀美子 議員
OOMATSU KIMIKO

問 ①新型コロナウイルス感染が広がり、町民の皆さんの中に大きな不安が広がっています。

町は、政府や北海道の要請を受け、小中学校、放課後子どもセンターを、３月24日まで臨時休校・休所を決めています。

新学期が始まるまでの長期休校・休所で、共働きの家庭からは、低学年だけでの留守番は心配、仕事を休めないなど深刻な声が届いています。

一律に休校・休所ではなく児童生徒の実態をつかみ対応を図る必要があると考えますが。

②マスクや消毒用アルコールなどは手に入らない事態が起きています。

高齢者や妊婦、障がい者などへ、マスクや消毒剤を配布する考えは。

③感染者が確認された場合の対応は。

④町の相談窓口を設置すべきと考えますが。

答 ①感染の流行を早期に収束させ、集団による感染の拡大を防止することが極めて重要と判断し、小中学校、放課後子どもセンターの休校・休館を決めました。

しかし、２月27日、内閣総理大臣の要請を受け、３月５日から春季休業開始日までの間延長することにしました。

休校にした大きな決め手は、近隣の苫小牧市や日高管内でも発生し、いつむかわ町で発生してもおかしくないとの判断からです。

放課後児童クラブは、３月５日から３月24日までの間留守番をすることが困難な小学校低学年を対象に開設しています。

鵡川児童クラブの利用者数は11名。穂別児童クラブは13名です。

②消毒用アルコールは公共施設に配備するよう確保していますが、今後の必要量を見込み追加発注しています。

マスクの在庫は２０００枚ほどです。一部福祉施設などへの対応をする考えです。

マスクについても発注をしています。

③感染者が確認された場合、検体を検査機関に送り、陽性反応が出た場合は北海道が記者会見をします。

その後町に情報が入り、本人の同意があれば市町村名を公表となります。

基本的な対応は、苫小牧保健所の指導のもとに行います。

対策の行動マニュアルは、インフルエンザ対策行動計画があり、これに基づき行います。

④医療受診については、苫小牧保健所に相談するほうが良いと考えます。

総合的な町への問い合わせ先は「総務企画課危機対策グループ」としています。

丁寧に対応する考えです。

行ってきまーす

北村（きたむら）　修（おさむ）　議員
KITAMURA　OSAMU

新型コロナ・こんな時こそ町民に寄り添って

対策会議から対策本部、折込で町民へメッセージ

問 新型コロナで町は対策本部を設置しました。町民に寄り添う立場は、「相談は保健所」だけでなく、町民の気軽な相談窓口は町役場へとした対応が願われますが。

答 2月25日の感染症対策会議から2回の会議を経て、28日対策本部と進め、折込で町長メッセージを発してきました。

今後チラシ等で総合窓口のお知らせをします。

さらに、非常時に対して対応できる体制、有事の際に速やかに対応をとれるようにします。

学校休校に伴う子どもの健康と安全対策

問 休校の実施は道知事等から要請があってとあるが、学校法で臨時休校などは、学校設置者である町の判断とあります。また、子どもたちの学ぶ権利もあります。どのような現場協議、判断がありましたか。

答 知事等からの要請を受け、教育委員会で判断、臨時校長会等で現場の声を聴き、子どもの安全を守るべきとの見解となりました。

学ぶ大切さは当然で、権利もあります。その前に命を守らなければと判断しました。

問 低学年など家庭でみられない子どもの対応で「放課後子どもセンター」の在り方等で、職員の体制は。

今の狭いスペースで大丈夫か。学校開放を含めて検討すべきではないか。

また、同センターへの発達支援センター参加は安全対策などで大丈夫ですか。

答 今は5、6人の職員体制です。不測の場合には応援態勢をとります。体育館も活用します。

子ども発達支援センターの特別支援学級等に通っている子供たち、留守家庭などは6年生までとし、感染予防マスクを使用します。職員もそのままで行います。

高齢者施設、健康弱者

問 高齢者施設での対応について、町の指定管理施設の中で健康と安全対策、マスク、アルコール等の対応は。

また、妊婦の方への対応については。

答 高齢者施設でのマスク、消毒液があるかどうか、困っていること等について確認しています。

ここみ荘は、住宅の意味合いもあり、面会制限までは難しいです。

妊婦の対応は重症化しやすいので注意喚起を促しています。

自粛と雇用、経済対策

問 安全と自粛による感染防止対策の中で、国等への要望とともに、町に関係する四季の館、学校給食、高校の寮などで収入が減るなどがあり対応が求められますが。

答 四季の館は基本協定があり、不測の場合は手当をしていきます。

学校給食では雇用調整助成金が出てきます。

その対象でない時などは協議をしていきます。

高校の寮については直ちに調査をします。

おいしい春レタス

委員会報告

総務厚生常任委員会

震災復興に向けて
町財政は？

【調査日】令和２年２月12日
所管課より次の調査項目の説明を受け質疑応答の後、意見を取りまとめました。

町財政の現状と課題（中間報告）

○主な聴取内容
・平成30年度決算の概要について
・財務指標とフレームとの比較について
・実質公債費比率について
・町債残高について
・基金残高について
・平成30年度までの決算額、令和元年度の予算額について

○主な課題
健全化判断比率の将来負担比率が４年ぶりにマイナスからプラス５．８％になりました。
要因は、平成30年北海道胆振東部地震からの復旧に必要な一般財源に充てるため、財政調整基金を大きく取り崩し補填したことで、将来負担すべき費用へ充当できる財源が減少したためです。
このため、復旧復興事業に伴う将来負担と、人口減による税収減少、普通交付税の合併特例措置の終了を迎えることから、持続可能な財政保持に努める必要がある。
令和元年度決算を見据えた財政事情を念頭に、継続して調査することとした。

○主な意見
①政策と財政の課題において特に財源を捉えられる人材育成を進めること。
②公共施設等の総合管理計画で施設費の削減割合は最重要課題であるが、住民合意を得られるよう、丁寧な説明を着実に進めること。
③財政調整基金の使用内容と今後の財政運営等を丁寧に説明し、住民理解を得て安定した財政運営を進めること。
④ふるさと納税を進めること。
⑤中長期財政フレームの再計画は重要な課題であることから、議会とも十分な合意を得ながら進めること。

甘くな～れ　メロン

委員会報告

経済文教常任委員会

どうなった?穂別町民プール
大文夫?海岸浸食

【調査日】令和２年１月27日、２月10日
所管課より次の調査項目の説明を受け、現地調査の実施・質疑応答の後、意見を取りまとめました。

各工事等の進捗状況

○主な聴取・視察内容

調査段階での発注率は90%です。

未発注分が多いことも含め、不落札についても請負事業者と労務者確保、建設資材確保に難があり、発注単価設定でも市場単価と町が用いる道単価に乖離があり困難をきたしています。

プールは、所定の使用を可能とするなどの内容確認と、町の事業発注での課題を指摘、継続調査とした。

上水道事業の進捗状況

○主な聴取・視察内容

胆振東部地震災害にかかわり、鵡川地区での簡易水道の水源枯渇等から上水道事業への移転事業、既存の簡易水道での安全衛生で課題が見られ実態と対応について調査しました。

米原地区の上水道への移転工事は順調に経過し、他施設での安全衛生についても定期点検の実施、上水道への移行を協議、方向性を確認し調査終了としました。

晴　海　海　岸

海岸浸食における保全対策

○主な聴取・視察内容

「海岸浸食における保全対策」として、晴海地区の海岸、鵡川河口の浸食状況と農地への被害、６線排水路、などの現地調査を行いました。

晴海海岸は浸食が激しく、１９４７年と比較して汀線が４００メートルほど浸食されています。

河口部分でも浸食は激しく、干潟が大きく減少しています。

○主な意見

①これまでテトラポットでの護岸などがあるが、将来を見据えた本格的な対策を国等に要望する。

②鵡川河口との合流部の浸食対策は、町の重要資源であるシシャモの遡上にかかわる大きな問題であり、専門機関も入れた本格的な研究、検証を行い抜本的な対策が必要である。

③６線排水路関係では国道２３５号線にかかるカルバートの位置が高いことから排水の妨げとなり、上流で浸水被害を広げている問題があり、カルバート改修を求めていく。

特別委員会（中間）報告

胆振東部地震復旧復興調査特別委員会

【調査日】令和２年２月５日
所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

○主な聴取内容

復興計画における商工業観光の振興（まちなか再生）について

復興に向かう課題と新たなまちづくりの立場から、店舗・住宅等の多数が損壊被害を受け、空き地が広がるまちなかの再生について調査しました。

～これまでの取組～

仮設店舗の設置、中小企業復旧支援、町内における民間団体等の取組、まちなか再生セミナーが実施されました。

～今後の取組として～

- ●まちなか再生検討会の設置
- ●まちなか復興賑わい事業
- ●観光ニーズの把握と観光振興方針の策定

町民の声、思いを積極的に取り上げ、提言していくことを確認し、継続調査としました。

○主な意見

- ●すでに両地区内で町民の自主的な取組があり、町は尊重し推進すべき
- ●震災からの復興という点では、町民一丸となってどのような町にしたいかという意見を吸い上げていくことが必要

食べてください　おいしいホッキ貝

表紙の写真

関西から農業に魅せられて藤井兄弟です。（新規就農者）

お詫びと訂正

むかわ議会だより第49号22ページの請願の所に間違いがありました。
訂正をして深くお詫び申し上げます。
訂正箇所は、上から2段目、右から8行目です。
誤「4回にわたり…」
正「3回にわたり…」

発行：むかわ町議会　〒〇五四－八六六〇　勇払郡むかわ町美幸二丁目八八番地
編集：議会広報委員会　℡〇一四五－四二－二四八六　FAX〇一四五－四二－四九九四
印刷：清文堂印刷㈱　〒〇五四－〇〇四二　勇払郡むかわ町美幸一丁目一二番地